

今月のトピック

政治

- ◆ウクライナへの軍事及び軍事技術支援の決定並びにこれに関連した国内の動き（国民議会決定、世論調査結果、正教会関係者の書簡公開）
- ◆組閣及び選挙に向けた動き（大統領と各党との組閣前協議、地方新党の発足）

経済

- ◆ブルガリアの人口（国政調査結果）

※月報は、ブルガリア各種メディアの報道等を取りまとめたものであり、在ブルガリア日本大使館の意見や判断を反映するものではありません。

政治

- ◆ウクライナへの軍事及び軍事技術支援の決定並びにこれに関連した国内の動き

▶国民議会決定：11月3日、国民議会は、ウクライナへの軍事支援及び軍事技術支援の提供に関する決定案を1か月以内に国民議会に提出するよう閣僚評議会に指示する旨決定した。投票結果は、賛成175票、反対49票及び1票。GERB-UDF、変革党、権利と自由のための運動（MRF）、民主的ブルガリア（DB）及び台頭党が賛成、社会党（BSP）及び再生が反対、変革党から1名が棄権した。BSPは、決定案採択時、議場で「武器にNO！平和を」と記載したプラカードを掲げた。

この決定により、閣僚評議会は、必要な軍事装備品を提供するための合意を短期間で署名し、経済、インフラ及びエネルギーに関するウクライナの復興を支援するための措置のパッケージを特定する等の対応を求められる。

この決定を受け、同日、ストヤノフ国防大臣は、自国の軍事装備・兵器の余剰分を分析した後、閣僚評議会から国民議会に提出決定案を準備する、老朽化した兵器の代わりにどのような装備品を受領するかも重要である、ウクライナに重火器は提供しないとコメントした。

▶正教会関係者の書簡：11月3日、ブルガリア正教会ヴィディン（セルビアとの国境）府主教は、「流血に至らしめた憎悪及び敵意の証拠は、今年2月の軍事活動の開始以前から、主に現在無罪とされている当事者に関連して多数存在している」、「ウクライナでの第三国による破壊行為への資金提供、破壊行為の実施、政権転覆については、なんと評するのだろうか。」、「神が我が国の政治家に、平和を愛する精神及びいかなる形であれ戦争への参加を控えるための知恵を授けてくれるよう祈ろう。」等主張を記載した管区内教会関係者宛の書簡をフェースブック上で公開した。

▶世論調査結果：11月10日付けBTAニュースが報じた当地調査機関（ESTAT）による本年10月のブルガリア成人1,000人へのウクライナ戦争に係る世論調査では、この戦争

についてウクライナを支持するとの回答は23.1%、ロシアを支持するとの回答は20.7%であった。また、この戦争についてブルガリアはいかなる立場をとるべきかについては、中立であるべき(67.5%)、ウクライナへの支持を表明すべき(16.3%)、ロシアへの支持を表明すべき(8.6%)との回答であった。ブルガリアがNATOに加盟するかどうかについて今国民投票が行われる場合の投票態度については、支持(29.8%)、不支持(31.1%)、投票にいかない(21.1%)であった。

◆組閣及び選挙に向けた動き

▶ラデフ大統領は、11月末までに全ての国民議会政党と組閣前協議を行った。その際、11月21日のDBとの協議の中で、第3党以下への組閣権限の委任は、仮にそこに至るならば年明け以降であり、前倒し総選挙は来年3月以降である旨述べた。12月初旬から、ラデフ大統領は第一党から順に組閣委任を行い、通常内閣の発足が目指される予定である。

▶地方新党「Save Sofia!」の発足: 11月8日、NGO「Save Sofia!」は、政党設立宣言を発表し、政党としての発足を宣言した。同NGOの設立者の一人であるボリス・ボネフ現ソフィア市会議員は、2019年地方選挙でソフィア市長選に出馬し、得票率第4位(約10%)であった。ボネフ氏は、メディアへのインタビューに応じ、同党は国政選挙には参加せず、2023年秋の統一地方選挙に向けて準備を進める旨述べた。なお、11月13日、ボリスフGERB党首は、ソフィア、プロヴディフ、ブルガスの市長には現職候補を再擁立しないと表明した。

経 済

◆ブルガリアの人口（国勢調査結果）

ブルガリア国家統計局より、2021年に実施した国勢調査の結果が発表された。前回2011年の結果と比較し、大幅に人口が減少する結果となった。

▶調査結果によると、ブルガリアの人口は6,519,789人(構成比 女性:3,383,527人(51.9%)・男性:3,136,262人(48.1%))であり、前回2011年の調査(7,364,570人)から11.5%減少した。

▶調査によると、ブルガリアでは国民の4割が都市圏に居住している。最大の人口を抱える都市は首都ソフィア地域(1,124,290人)であり、プロヴディフ(634,497人)、ヴァルナ(432,198人)、ブルガス(380,286人)と続いている。

▶ブルガリアにおける15歳から64歳の人口は、4,069,400人(62.4%)であり、2011年と比較すると、958,501人、(19.1%)減少している。

▶0~14歳の人口が総人口に占める割合は、13.2%(2011年)から14.1%(2021年)に増加したが、絶対数は975,000人(2011年)から918,000人(2021年)となっており、5.9%減少している。

▶民族別に見た場合、ブルガリア人が5,118,494名(84.6%)、トルコ系民族が508,378名(8.4%)、ロマ族が79,006名(1.3%)となっている。

指標	月／四半期(Q)
GDP 成長率	+3.3%(Q3・暫定値):年率換算)
消費者物価指数	+15.0%(10月:前年12月比) +17.6%(10月:前年同月比)
失業率(登録者数)	4.3%(10月)
公的債務残高／GDP(含む国及び地方)	21.3%(暫定値)(Q2時点)

※ブルガリアのマクロ経済指標は、ブルガリア国立銀行HPよりご覧になれます
<https://www.bnb.bg/Statistics/StMacroeconomicIndicators/index.htm?toLang=EN>。